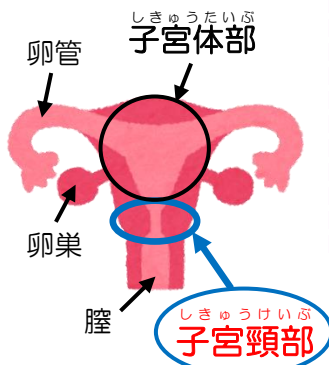


しきゅうけい 子宮頸がんワクチンについて知ろう!

そもそも、「子宮頸がん」ってなに?

- 子宮の出口に近い部分(子宮頸部)にできるがんです。20～60歳代の女性において多くを占めるがんの一つです。
- 日本で子宮頸がんと新たに診断される女性は、年間約11,000人です。また、子宮頸がんて年間約2,900人の方が亡くなっています。
- 子宮頸がんのほとんどがHPV(ヒトパピローマウイルス)の感染で生じます。

予防できるワクチンがあり、HPVに感染するのを50～90%防げます!
(ワクチンの種類により効果は異なります)



12～16歳の女性は無料で接種できます

(誕生日が1997年4月2日～2007年4月1日の女性も無料で接種できます)

HPVワクチンは日本では3種類あり、2～3回接種します



男性も接種することでパートナーに移すことを防ぐことができます

(男性の接種は一部地域を除き有料です…)

HPVワクチンの接種は強制ではありません。ワクチンを接種することについてしっかり理解し、保護者とよく相談したうえで接種するか、接種しないかを決めてください。

女性はワクチンを接種しても、接種しなくても、20歳を過ぎたら2年に1回、必ず子宮頸がん検診を受けましょう。

参考: 国立がん研究センター「2019年度がん種別統計情報」、HPVワクチンについて知ってください～あなたと関係のある“がん”があります～(2023年3月改訂版、厚生労働省)、HPVワクチンの接種を逃した方に接種の機会をご提供します(2023年3月改訂版、厚生労働省)

健康やお薬などについて、気になることがある方は、相談薬局・出張相談会で薬剤師に気軽にお尋ねください。

《出張相談会— 保健室に学校薬剤師が来ます》
ドラッグレターの内容、医薬品や健康、薬物乱用などについて、相談・聞きたいことがある人は保健室まで!
11月16日(木) 16時30分～17時15分

作成・発行元 北陸大学薬学部
教授 大柳賀津夫(学校薬剤師)
准教授 岡本晃典(薬剤師)
5年生 大久保大登、越田開成

